

1月14日からの雪で楠は白くなってしまった。17日の朝がこれ！

大寒波が来るといわれながら、そうたいしたことはあるまいと思っていたら、そのとおり楠全体が白くなるくらい雪が降った。ずいぶん前に大雪を経験していたが、それに匹敵する大雪であった。

これは記録しておかないといけないと思い、写真を撮った次第。雪がやんで太陽が出て少し時間が経ってしまったので、降り終わったときの迫力が薄れてしまったが、まあ意味はあるだろう。



1月17日の朝、14日から降り始めた雪がようやく降りやみ、太陽が出たので鈴鹿川派川堤防に登ってみた。宝町の町並みの向こうに宝酒造が見える。



少し歩いて南側を見れば、雪に覆われた田んぼの向こうにトア紡が見える。



続いて西側を見れば、雪に覆われた田んぼの向こうに南川の町並みが見える。



新大正橋から東本郷地区の雪景色を見る。



新大正橋を渡り終えて雪に覆われた田んぼの向こうに本郷の町並みを見る。雲の下に鈴鹿山脈を見る。



捕緑地公園も雪に覆われていた。桜の木が寒そうに枝を張っていた。



江川から雪に覆われた田んぼの向こうに北五味塚を見る。



吉崎海岸も見事に雪に覆われていた。なかなかこういう景色は見られないと目に焼き付けたのだった。



新五味塚橋を渡り、南楠の海岸に来た。こちらハマガリの畜養場が雪に覆われ、これまでに見えない景色を見せてくれた。